



## フードバンク関西ニュース 2007年12月7日 第12号

2007年12月7日発行  
NPO法人フードバンク関西  
事務所 芦屋市呉川町1-15  
Tel/Fax 0797-34-8330  
E-mail [foodbank05@yahoo.co.jp](mailto:foodbank05@yahoo.co.jp)

フードバンク関西は食品関連企業から余剰食品を

受け取り、支援を必要とする人達を支える非営利団体にそれらが無償提供する活動をしています。

### フードバンク関西、ついに認定 NPO 法人となる！！

今年2月5日に申請書を芦屋国税局に提出し、4月12日に大阪国税局の審査を経て、国税庁で審査中ということで、長い間結果待ちであった認定 NPO 法人格が、12月1日付けでやっと取得できました。書類を提出してから10ヶ月経過し、結果を懸念していたので無事認定を受ける事ができてとても嬉しいです。兵庫県では2つ目の認定 NPO 法人となります。

#### 認定 NPO 法人になるために

フードバンク関西は小規模法人の特例枠を利用しました。小規模法人の特例枠とは次の2点です。

- ① 実績判定期間（申請時直前の2会計年度）の年間平均収入が8百万円以下
- ② 実績判定期間2年間に受け入れた寄付金の合計額が3千円以上である寄付者が50人以上

#### 認定 NPO 法人となるための主な要件

- ① 経常収入額に対する寄付金収入額の割合が3分の1以上（小規模法人の場合）
- ② 事業費総額に占める特定非営利活動に係る事業費が80%以上。
- ③ 受け入れ寄付金を特定非営利活動に充当する割合が70%以上。

他に役員のうち占める親族等の割合、社員（正会員）の内に占める親族等の割合、役員または社員のうち占める特定の法人の役員等の割合、この3つが3分の1以下等の要件もあります。

#### フードバンク関西が認定 NPO 法人となると

**個人の皆様**が会費や寄附をフードバンク関西に入金していただいた場合、これからは**他の認定法人等への寄附分も含めた合計額が5千円を超える分に対して、寄付金控除等の税の優遇措置を受ける事が出来、税負担を少し軽くできます。****法人の皆様**については寄附金を損金として扱う限度額が増加し、お金の寄附に加えて物品も寄附として取り扱えるようになります。

**フードバンク関西としては、**広く一般から支持を受けている活動である事、活動や組織運営が適正に行われている事、法人に関するより多くの情報を公開している、つまり事業の公益性と公正さを公に認めていただいたことになり、皆様に安心、信頼していただいて活動へのご支援をお願いする事ができるようになります。

**フードバンク関西の場合は、事業から収益が上がらないので、皆様からのご支援が運営費の財源のすべてです。**それで、事業の公益性と運営の公正さを皆様に理解していただく手段を考え、認定 NPO 法人格を取得する事が大切と判断しました。これにより、安心して会員になっていただいたり寄附をしていただく事ができ、皆様からのご支援を受けやすい団体となる事が出来ます。

## 11月18日、第4回通常総会が行われました。

フードバンク関西は、皆様のご支援のもと、平成19年8月31日に無事平成18年度末を迎える事ができました。去る11月18日（日）当法人芦屋事務所で第4回通常総会を開催し、平成18年度の事業報告、決算報告、平成19年度事業計画、収支予算等を承認していただきました。これにより平成19年度が実質的にスタートできた事になります。このニュースの紙面を使用し、フードバンク関西の平成18年度事業報告と平成19年度事業計画をご報告申し上げます。なお、平成18年度会計収支決算書は当法人のホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

### 18年度事業報告書

(平成18年9月1日から平成19年8月31日まで)

#### (1) 事業活動の状況

フードバンク関西は、平成15年2月から約1年間の準備期間を経て、平成16年1月20日兵庫県知事の認証を得、同月26日特定非営利活動法人格を取得し、法人として活動を開始しました。去る平成19年8月31日をもって第4期会計年度を終了する事が出来ました。

当法人は、食品関連企業等から余剰食品を回収し、社会福祉施設や生活弱者の自立を支援する非営利福祉団体にこれら回収食品を無償分配する事により、これら非営利福祉団体を支援することを目的として、芦屋市呉川町に主たる事務所兼倉庫、尼崎市南清水に倉庫を構え、事業を展開しております。

この活動を通して、食べ物として美味しく栄養もあり安全な余剰食品の有効活用を図ると共に、生活弱者を支える非営利福祉団体を支援することにより、互いに助け合い、より多くの人により豊かな生活を楽しむことができる社会の実現に寄与したいと考えています。また、若干なりとも、産業廃棄物として焼却処分される食品の量を減ずる事により環境保全にも貢献する事を願っています。

当期、平成18年9月からマックスバリュ西日本株式会社がフードバンク関西の余剰食品の回収と分配事業に参加していただいた事により、毎月2回の米の無償提供を受けることとなり、当法人が非営利福祉団体に無償で分配する食品に主食の米が加わり、フードバンク関西の活動は内容的に大きく充実することが出来ました。本年度は1年を通じて毎月約30キログラムの米を、受け取りを希望した15団体に無償分配し、西成区のホームレス支援をする釜が崎支援機構にも不定期に米を提供することができました。

平成19年6月には、地元の老舗企業である高嶋酒類食品株式会社が、賞味期限が1ヶ月を切った漬物類をほぼ毎月定期的に無償提供して下さる形で本事業に参加し、日本の食卓に欠かす事のできない食品の種類が増え、さらに内容の充実が図れました。

鶏肉加工済食品の無償提供により、2005年からフードバンク関西との協働に参加されている株式会社ジャパンフードサービスは、毎月2トン強にまで提供量が増加し、フードバンク関西の

ボランティアだけでは食品の引き取りが困難になった6月以降、提供食品の搬入の大半を会社スタッフが引き受けてくださるようになり、フードバンク関西のボランティアの負担が減少しました。

本年度フードバンク関西が取り扱った食品の量は73.3トンで、昨年度の60.8トンから大きく増加しました。量の増加と共に内容の充実も顕著で、それら食品を受け取って有効活用してくださる非営利福祉団体の皆さんにとっても喜んでいただける結果となりました。

フードバンク関西が無償分配する食品を受け取り、有効活用してくださる団体は少しずつ増加し、本年度末現在で27団体となりました。私達を取り扱う食品を食べ物として活用して下さる受益者数も月延平均として6千人を超えると考えられ、今後もさらに増加する事が予想されます。

2007年6月9日には毎日新聞関西版夕刊に活動紹介の記事が掲載され、8月1日に読売新聞全国版夕刊に一面を使つての活動紹介記事が掲載されました。それに続き毎日放送テレビ神戸支局からの取材が入り、8月7日夕方の報道番組の中で10分程度の特集として活動が紹介されました。報道関係者の注目を集めて記事や番組になる事は、私達の活動をより多くの皆さんに知っていただくよい機会となりました。その結果として、他のNPO団体からの交流の申し入れや食品関連企業からの問合せ等が増えました。

本年度に入ってから、中間支援組織である「コミュニティセンター神戸」、「大阪NPOセンター」、「東灘区ボランティアセンター」にボランティア募集や運営についてのアドバイスを求め、弁護士を紹介していただく等のご支援を受けました。その結果、ボランティア参加者が増え、食品受取についての確認書等の改訂を行う事ができました。

2007年1月に、主たる事務所を尼崎市南清水から昨年5月に開所した芦屋事務所に移動いたしました。食品の回収及び分配地点の中間に位置し、事務所設備も充実しており、ボランティアの集合場所としても便利と判断したことによります。以後、デリバリー活動の中心として、涉外活動の基地として、地域の皆さんとの交流の場である「ふれあい工房悠」として、集会の場所として、芦屋事務所は重要な働きを果たしています。

私達の広報誌、「フードバンク関西ニュース」は、会員への活動報告と関西地域に事業所を構える食品関連企業への協働の呼びかけを目的に、年に数回発行しています。本年度は2006年12月と2007年7月に発行した第10号、第11号の2回しか発行できませんでしたが、フードバンク関西の会員への情報提供に終わらず、関連企業への協働を呼び掛ける大切な機関紙として、今後もさらに充実を図りたいと考えております。また、フードバンク関西のインターネット上の公式ホームページも、多くの方に活用していただく事が出来、検索エンジン上位を維持できています。

2004年3月から大型商業施設との協働で開始した作業所生産品バザー「来て、見て、買ってね!」は、2ヶ月に一度の頻度で、定例的に開催し続けており、今年7月に第21回目のバザーを無事終了しました。

本年度2月に「認定NPO法人格」取得のための申請書を芦屋税務署に提出しました。認定NPO法人となる事で、私達の事業の公益性と内容の公正さを公的機関に認めていただくのが申請の目的です。4月に大阪国税局の審査を受けて、現在は国税庁からの結果連絡を待っていると

ころです。

私達の事業は、NPO法人「しみん基金こうべ」から平成18年10月から19年3月までの期間、50万円のデリバリー経費の助成を受ける事が出来ました。また続いて、木口ひょうご地域振興財団から平成19年4月から20年3月までのデリバリー経費として55万円の助成金を受ける事が出来ました。

また、ジョンソンエンドジョンソン株式会社の社会貢献委員会からは、本年度も活動費の支援を受ける事が出来ました。この支援は当法人初年度からずっと続いており、私達の活動の大きな支えになっています。

毎日地道に作業に携わっている私達ボランティアにとって、皆様からこのような形で評価を受ける事は何よりの励ましとなっています。

今後とも正会員、賛助会員並びに余剰食品を提供して下さる企業の方々を含め、ご関係の皆様方には一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

続いて、平成19年度の事業計画をご紹介します。

## 平成19年度事業計画書

(平成19年9月1日から平成20年8月31日まで)

### I 余剰食品の回収と非営利団体への無償提供事業について

フードバンク関西は、昨年度に引き続き本年度も食品関連業者から余剰食品と余剰生活用品を回収し、社会福祉施設や生活困窮者の自立を支援する非営利団体にこれら食品等を無償で分配する事業を継続し、さらに発展させます。

本年度からは、「食品流通の末端に、ボランティア活動によって金銭を介在させない食べ物の流通システムを創出し、命の糧である食べ物を大切に活用すると同時に、人々がお互いに助け合う社会の構築に貢献する。」という活動理念を明確にし、その実現に向けて事業をさらに拡大したいと考えます。そのためには、作業に当るボランティアの確保、運営資金の調達、余剰食品提供企業の協力、食品を受け入れ有効活用して下さる福祉団体の参加と協力が必要です。

フードバンク関西で食品の回収と分配の作業に当って下さるボランティアの方々には、やりがいを感じる働きやすい環境の整備を心がけ、負担過多にならない運営を行い、増員を図ります。

次に、フードバンク関西がこの事業を質的にも内容のある活動として発展させるために、学識経験者や食品関連の専門知識をもつ方々にアドバイザーとしての参加を求め、ボランティアが食品の安全管理や適切な扱い方を研修する機会を作り、食品に関して適切で豊かな知識を持つボランティア集団に変わる努力をします。

昨年度後半に、当法人の事業が報道関係者の関心を集め、毎日新聞、読売新聞に活動紹介の記事が掲載され、毎日放送テレビの報道番組でも取り上げられました。その結果として食品関連企業からの問合せが増加しています。フードバンク関西は、新しく余剰食品の提供を申し出てください



る企業に対し、食品の品質や保管条件等を吟味し受入可能かどうかをよく検討すると同時に、食品の配送についても協力を求め、また正会員となってフードバンク関西の協働事業者として主体的な参加を求めます。また、一般の方々のフードバンクへの関心が高まってきたことを受け、食品関連企業に対する広報活動を強化し、フードバンク関西の事業への参加は、企業の社会貢献に繋がることをアピールします。具体的にはフードバンク関西ニュースの年3回以上の発行と掲載記事の充実、阪神間の食品関連企業への発送の継続、ホームページの内容の充実と頻繁な更新を図り、最新の情報提供を心がけます。さらに認定NPO法人化への手続きも継続し、活動の公共性、公益性が公的機関からも証明されるよう努力をします。食品を受け入れて有効活用して下さる福祉団体の皆さんに対しても、フードバンク関西の事務所で食品の受け渡しをする等、この活動への参加と協力を求めます。

今後増加すると予測される食品関連企業からの多量の食品提供を受け入れ、積極的な活用を図るための方法の一つとして、現在すでに食品の受け取り団体であるNPO法人釜が崎支援機構を窓口として、大阪市西成区地域でホームレスを支援する複数の福祉団体との連携を図り、食品の無償分配だけに留まらず、新たな就労の機会に結びつく事業への支援も視野にいたした協働を考えます。

フードバンク関西は、他地域のNPO団体がフードバンク事業への参入を希望し、支援を求めてきた場合、フードバンク活動の日本での拡大を願う見地から、この事業の先駆団体として私達が今までに培った方法や活動経験を情報提供し、日本国内にこの活動が広く根付き拡大していく事を応援します。

## II 小規模作業所生産品バザーへの取り組みについて

フードバンク関西の社会貢献のもう一つの形として、フードバンク関西への食品提供業者であるカルフル尼崎店と、食品受け入れ団体である小規模作業所との間をつなぎ、カルフル尼崎店の1階商業スペースの一部を無償で借り受け、フードバンク関西がマネジメントを引き受けて、出店料無料の作業所生産品バザーを開催しています。2004年3月からスタートし、今年9月で第22回となりました。出店作業所も新たなメンバーが加わり、毎回数ヶ所の作業所の参加で行っています。このバザーは、一般購買客への販路を確保しにくい作業所にとって、貴重な販売の機会になり、生産品の品質の向上と、売れ筋商品の開発のための研修の場として、また、接客する事を通して、通所者と一般の方々との交流の機会ともなっております。本年度から開催頻度を3ヶ月に一度程度に変更して作業所スタッフの負担を軽減することも配慮しながら、継続します。

## III 「ふれあい工房 悠 (はるか)」について

毎週土曜日午前11時から午後2時までの3時間、「ふれあい工房悠」と名づけて、事務所談話室を近隣の皆さんに開放し、余剰食品を食材としたランチの試食会を行い、交流の場として活用しています。調理士資格を持つボランティアが中心になって、その週に取り扱った食品を食材とした軽いランチを準備し、運営しています。企業からの食品の搬入や引き取り団体への搬出等の作業を見学したり、取り扱う食品を試食していただく事で、フードバンク関西の活動に触れる

機会としてとても効果的です。地域の皆さんや見学者、食品を受け取りに来た福祉団体のスタッフ、フードバンク関西のボランティア、いろいろな立場の方々が、くつろいだ雰囲気の中で試食と会話を楽しみ、交流を深めています。多くの方に「ふれあい工房悠」に集うことをきっかけにして、フードバンク関西が行う事業への理解を深め支援の輪に参加していただくための広報活動の一つとして、また、たくさんの方々との出会いによる新たな発展を期待しつつ、本年度もこの事業を続けます。

**フードバンク関西は平成18年度中に下記の皆様からの温かなご支援を受けて事業を展開する事が出来ました。この紙面をお借りして心より御礼申し上げます。**

#### **食品、物品の寄贈企業・団体**

コストコホールセールジャパン カルフル（イオンマルシェ株式会社） 株式会社ジャパンフードサービス  
マックスバリュ西日本株式会社 高嶋酒類食品株式会社 日本ポート産業株式会社 丸紅シーエルエス株式会社  
株式会社 Foreign Buyers Club プライスクラブ NPO 法人セカンドハーベストジャパン

#### **会員の皆様（敬称略）**

三木博子 愛信学園 共同ホーム 南都嘉宏 カトリック明石教会 さくら苑 仲松順子 いくの学園 望月脩  
夢つとびあ ウィメンズネット神戸 ファレ・モナモナ 猪名川園 神戸真生塾 尼崎厚生はずの会 タオ工房  
大阪愛の教会 神愛子供ホーム 株式会社セキパール 大東祥成 坂本憲治 高羽少年野球チーム 新田光明  
岡弘樹・裕子 柚山寿美 高橋玲子 西山和彦 伊丹威（株）ジャパンフードサービス 三田谷治療教育園  
愛神愛隣舎 土谷忠雄 岸田美津子 藤田真佐子 庄司勤 庄司美奈子 福富英明 摩耶電気工業所 望月節  
釜が崎支援機構 手作り工房ふるふる 春日裕子 NPO コスモス ユートピア 土谷正朗 土谷直樹 森田文子  
藤井久美子 丸山至 佐藤林蔵 横江陽子 森美代子 吉田チズ子 田中敏智 田辺恵理子 岡元義則 望月暁  
難波孝子 平原康子 芝真理子 小寺美佐緒 川西紀子 赤野樹音 竹内みち子 新生会作業所 五島静弥  
小西啓介 座間満 中崎紀夫 は一とらんど味彩 太田寛 高橋園子 黒澤麗 井上大作 猪坂裕代 前野佳恵  
山崎康子 飯田美貴子 伊澤久代 笠岡八重 出見公代 宮野幸子 小堂フサ子 奥村佳子 伊丹 ICC 小川明  
井上真姫 柳瀬由美 田村めぐみ ひまわりファクトリー 徳野良夫 中川静子 土井雪江 西澤和代 林秀行  
吉田敏子 スパークス 浅葉修 小林弘美 南都伸介 福本雅子 津川仲二 南原靖一郎 石井義孝 田上順一  
藤田治 土谷好子 川西美年 浅葉めぐみ 山田みち子 森陽一郎 齊藤聡明 山本茂 田中賢侍郎 杉山嘉夫  
高田嘉敬 中馬映子 岩田喜行 高嶋酒類食品株式会社

#### **寄附をお寄せくださった皆様（敬称略）**

中馬透 長倉英明 ジョンソンエンドジョンソン株式会社 吉田ツル子 井上悦子 ソロプチミスト六甲

#### **助成金をご提供くださった団体**

しみん基金神戸 木口ひょうご地域振興財団 兵庫県社会福祉協議会

**平成19年度もこの事業を継続し発展できますよう、ボランティア一同、精一杯の努力をする決意です。  
どうぞ、皆様からのあたたかなご支援を本年度も賜りますよう、心よりお願い申し上げます。**

**余った食べ物を預かって、必要なところに届けます フードバンク関西**

事務所 〒659-0051 芦屋市呉川町1-15 TEL 0797-34-8330

<http://foodbankkansai.web.infoseek.co.jp> e-mail [foodbank05@yahoo.co.jp](mailto:foodbank05@yahoo.co.jp)